



令和3年
5月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 田中 康 善

新年度が始まり、1カ月が過ぎました。

★残念ながら、今年もオープンスクール、PTA総会、引渡訓練は中止。

校庭を渡る風も爽やかになってきました。草木も緑を増し、正に新緑の季節となりました。季節は移ろい自然豊かな日本が四季を感じさせてくれます。その中であつて、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。深刻な状況が続いており、家庭訪問、オープンスクール、引渡訓練も見合わせる事となりました。家庭訪問においては、実施期間中のことでもあり、保護者の皆様には大変なご苦労とご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。この厳しい感染拡大状況に鑑みお許しただきますようお願い申し上げます。今後も一人一人の感染防止対策の徹底が益々重要となつてきます。その意味を理解し、しっかりと行動できるようにしたいと思ひます。

さて、各学年・学級も4月は何かと忙しく慌ただしい時期だつたように思ひます。4月は、何といつても学級のシステムを作ることが重要です。どの学級もそこに心を砕いてきました。どの学級も新しい年度が始まり、気持ちも新たにスタートしました。先述した学習参観は、子供達にとって緊張する反面、自分が頑張っている姿をお母さんやお父さん、おばあちゃん、おじいちゃんに見てもらえる絶好の機会です。少し恥ずかしい思いもありますが、みんなの前で発表し終えた時は達成感と満足感がいっぱいでした。やったりという顔、姿になります。自分の晴れの姿、雄姿のお披露目と保護者の方

の楽しみは、次回以降となつてしまいました。お許しください。

新緑の季節、爽やかな緑が眩しい季節

校長室の窓から、オオデマリの木が見えます。4月の初めの様子と今の様子が大きく違っています。葉っぱばかりの4月、徐々に花が咲いてきました。緑色の塊、その塊の中に、これから大きくなる、花を色づかせるエネルギーが満ち溢れているかのようでした。今は、その緑の塊がくつきり鮮やか、爽やかな白い花となつています。遠くから見るとまん丸い、白い、可愛い、野球ボールが、緑の葉っぱの中にくつも見られます。それらが風に揺らいでいる姿は、何とも愉快で、楽しくいいものです。この1カ月の間にオオデマリは、ゆっくりとその姿を変えつつ、見事に花を咲かせてくれました。改めて時の流れを、そして、その流れの中で生長する自然の力のすごさ、力強さ、素晴らしさを感じる事ができました。

このように季節は、どんな時も留まらず時を重ね進んでいきます。同じように、令和3年度の子供達の学習も同じよう進んでいきます。今、学校で重要視されている学びは、教師からただ教えてもらう受身的な学びではなく、一人一人が主体的・対話的に自らが学習を進めていくという学びです。自分の考えをしっかりと持ち、他の人の意見をよく聴き、比較したり、組み合わせたり、疑問と思うところを確認したりしながら、より自分の考えを高め、広げていく学びへの転換が言われています。さらに、自分の考えを広げるためには、学校の友達、先生というだけでなく、インターネットを通じて

もっと大きく広い世界と繋がっていく学びが重要であり必要となつてきています。小野市の学校でも「GIGAスクール」元年として一人一台の端末が配備されています。

また、このコロナ禍の時代、誰もが最も大事なことは、やはり「命」であると再認識しました。未だなくならないじめや偏見・差別、自死のニュースが流れています。それを目にする度、大変悲しく心が痛みます。どんなに時代が変わろうと、人としての豊かな人間性、相手を認め、優しく、誠実に、接していく思いやりの心。日々、生長し、言葉はなくても人に優しく問ひかけ、話しかけてくれる自然。その自然を愛する心が、やはり人には大切です。今は時代の流れが速く、非常に急激です。そのような中であつて、益々人のあたたかさや繋がりを大切にすることが求められ大切であると実感します。

そして、子供達の学びを高めるためには、経過、過程が重要だと考えています。途中経過にその子供よさや努力を認め、励まし、褒めることができるのは、私達大人の力です。教職員、保護者、地域の方々等、児童を取り巻く全ての人々ということになります。全ての子供達は、自分で考え、行動し、上手にいかない経験や失敗を繰り返しながら成長し、互いに支え合い、困難や課題を乗り越えていく力をその小さな体にいつぱい秘めています。「今日も学びたい、明日も行きたい。」と思える中番小学校の実現に向け、今月も取り組んでいきたいと思ひます。

どんなに厳しく苦しい状況にあつても、いつもあなたたかく見守り、ご理解をいただいている保護者の皆様、地域の皆様の惜しみないご支援とご協力を、今月もどうかこの中番小学校に賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、この地域とともに在り、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと思ひます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。